



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年1月31日

上場会社名 ダイニチ工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5951 URL <http://www.dainichi-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉井 久夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 酒井 春男 TEL 025-362-1101
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	17,223	6.9	1,655	21.2	1,730	22.9	1,121	11.9
28年3月期第3四半期	16,106	△4.6	1,366	△4.1	1,407	△6.4	1,002	△3.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	63.41	-
28年3月期第3四半期	56.68	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	29,022	25,254	87.0
28年3月期	27,724	24,344	87.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 25,254百万円 28年3月期 24,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	0.00	-	22.00	22.00
29年3月期	-	0.00	-		
29年3月期(予想)				22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	4.2	600	61.3	600	30.2	410	98.1	23.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	19,058,587株	28年3月期	19,058,587株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,375,129株	28年3月期	1,375,101株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	17,683,483株	28年3月期3Q	17,683,640株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和を背景に企業収益や雇用情勢は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、アメリカの金融政策正常化や政策の動向による影響、中国をはじめとするアジア新興国や資源国経済の先行き、英国のEU離脱問題に伴う影響など、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社の主力分野であります石油暖房機器業界におきましては、石油輸出国機構(OPEC)とロシアなどの非加盟産油国による減産合意を受けて原油先物価格が上昇する一方で、昨年度発生したエルニーニョ現象による記録的な暖冬に対する反動増の影響があり、市場規模は前年に比べて拡大いたしました。

こうしたなかにあって当社は、市場や住環境の変化に対応した商品開発に取り組んでまいりました。

暖房機器におきましては、日本国内の自社工場での生産による迅速な商品供給力と、安心して商品をお使いいただくための品質保証体制がお客様に評価されて業界内で確たる地位を築いております。

主力商品であります石油暖房機器におきましては、最上位機種 of SDRタイプに除菌ステンレスフィルターを搭載して付加価値を高めた新商品を発売いたしました。この他、お客様の要望に即した商品開発を行ない、全9タイプ30機種の商品を発売し、売上は前年同期実績を上回りました。

また、電気暖房機器におきましては、静音性能を高めたセラミックファンヒーター2機種を新発売し、認知度向上のためのプロモーション活動などの販売活動に努めた結果、売上は前年同期実績を上回りました。

加湿器におきましては、運転音の静かさ、日本国内生産とそれに伴うアフターサービス体制をお客様に評価されて、平成15年に生産を開始してからの累計生産台数は200万台を超えました。当事業年度においては3シリーズ16機種を発売し、売上は前年同期実績を上回りました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は172億23百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益は16億55百万円(前年同期比21.2%増)、経常利益は17億30百万円(前年同期比22.9%増)、四半期純利益は11億21百万円(前年同期比11.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は、主に受取手形及び売掛金の増加による流動資産の増加により、前事業年度末に比べ12億97百万円増加し、290億22百万円となりました。負債は主に未払法人税等の増加による流動負債の増加により、前事業年度末に比べ3億87百万円増加し、37億67百万円となりました。純資産は四半期純利益の増加による利益剰余金の増加により、前事業年度末に比べ9億10百万円増加し、252億54百万円となり、自己資本比率は87.0%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年5月13日発表の「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,883,581	7,910,568
受取手形及び売掛金	2,088,955	10,817,227
有価証券	11,894	12,330
製品	4,784,631	1,871,092
仕掛品	108,449	112,026
原材料及び貯蔵品	819,769	732,675
繰延税金資産	323,425	125,802
その他	66,630	56,110
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	20,086,336	21,636,834
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,373,437	2,249,354
土地	2,088,139	2,087,425
その他(純額)	1,888,583	1,539,510
有形固定資産合計	6,350,161	5,876,290
無形固定資産	48,725	31,206
投資その他の資産		
投資有価証券	1,197,144	1,440,265
その他	42,647	37,955
貸倒引当金	△656	△526
投資その他の資産合計	1,239,135	1,477,694
固定資産合計	7,638,022	7,385,191
資産合計	27,724,358	29,022,025

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	954,763	872,206
未払法人税等	30,075	350,370
賞与引当金	254,605	84,649
製品保証引当金	177,800	175,000
その他	1,125,757	1,258,651
流動負債合計	2,543,001	2,740,877
固定負債		
繰延税金負債	14,018	142,173
再評価に係る繰延税金負債	102,230	102,230
退職給付引当金	326,337	365,963
役員退職慰労引当金	394,456	416,011
固定負債合計	837,043	1,026,378
負債合計	3,380,044	3,767,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,058,813	4,058,813
資本剰余金	4,526,572	4,526,572
利益剰余金	16,458,216	17,190,402
自己株式	△989,882	△989,902
株主資本合計	24,053,720	24,785,885
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	357,582	535,872
土地再評価差額金	△66,988	△66,988
評価・換算差額等合計	290,594	468,884
純資産合計	24,344,314	25,254,769
負債純資産合計	27,724,358	29,022,025

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	16,106,064	17,223,235
売上原価	11,638,277	12,409,015
売上総利益	4,467,787	4,814,219
販売費及び一般管理費	3,101,677	3,159,103
営業利益	1,366,109	1,655,115
営業外収益		
受取利息	4,878	1,465
受取配当金	28,551	33,687
作業層収入	21,506	19,095
受取賃貸料	17,817	15,931
助成金収入	—	49,377
その他	24,973	28,619
営業外収益合計	97,726	148,176
営業外費用		
売上割引	55,941	72,398
その他	60	1
営業外費用合計	56,002	72,399
経常利益	1,407,834	1,730,892
特別利益		
投資有価証券売却益	32,636	—
固定資産売却益	1,626	—
特別利益合計	34,262	—
特別損失		
固定資産除却損	15,163	809
訴訟和解金	—	50,000
その他	1,002	714
特別損失合計	16,166	51,523
税引前四半期純利益	1,425,931	1,679,369
法人税、住民税及び事業税	195,000	299,000
法人税等調整額	228,651	259,146
法人税等合計	423,651	558,146
四半期純利益	1,002,279	1,121,222

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。